

Information

町内予定

4月

- 23日(日) 苫前町長・町議会議員選挙
- 24日(月) 古丹別地区防火パレード
- 25日(火) 苫前地区車両防火パレード
- 28日(金) とままえ温泉ふわっとリニューアル
オープン・道の駅直売所完成式典
- 29日(土) **昭和の日**
第1回苫前町少年少女体験教室

5月

- 10日(水) 乳児検診(公民館)
- 12日(金) 健康相談(公民館)

J A北海道厚生連 苫前厚生クリニックよりお知らせ

皮膚科 外来日は
5月: 10日(水)

午前

診療時間: 8:30 ~ 12:00
受付時間: 8:00 ~ 11:30

午後

診療時間: 13:30 ~ 15:00
受付時間: 13:00 ~ 14:30

※診察には事前の予約が必要となります。
電話での診療予約もできます。

管理栄養士による

「今日からあらためる食事療法・なんでも相談」

内科の予約診療です
日程: 5月17日(水)

午前・午後とも予約制です。
ご希望の方は電話でお気軽におたずねください。

J A北海道厚生連 苫前厚生クリニック (☎ 65-3535)

第49回 さくらまつり

5月7日(日) 午前11時 ~ 午後2時30分

予興・催しもの

来るとま
るよ おく
くんと
も



🌸 歌謡ショー

演歌歌手 窪田 みゆき

🌸 パフォーマンスショー 豊饒太鼓

🌸 カラオケ大会

団体申込受付をいたします

会場準備の都合上、団体の方々は団体名と人数を
5月1日までに事務局へ知らせてください。

連絡先

苫前町公民館内古丹別連合町内会事務局

☎ 65-3311

特設コーナーでは

商工会青年部や苫前商業高校生
などにより、様々な飲食物が提供
されます。

議会だより

No. 131

苫前郡苫前町字旭 37 番地の 1

令和 5 年 第 1 回定例会

一般会計

42 億 3,166 万 9 千円

特別会計

15 億 8,980 万円

総額 58 億 2,146 万 9 千円

特別会計予算

国民健康保険特別会計	4 億 6,150 万 1 千円
介護保険特別会計	4 億 2,521 万 5 千円
後期高齢者医療特別会計	6,525 万 8 千円
簡易水道事業特別会計	1 億 6,302 万 1 千円
下水道事業特別会計	3 億 6,413 万 2 千円
風力発電事業特別会計	1 億 1,067 万 3 千円

令和 5 年度各会計予算可決!!

令和 5 年第 1 回定例会は 3 月 7 日に招集され、会期を 16 日の 10 日間と決め、開会初日に令和 4 年度一般会計及び各特別会計補正予算 6 件、報告 1 件、その他 1 件を可決した。

引き続き令和 5 年度一般会計並びに特別会計 6 件の説明のあと、予算特別委員会に付託し、9 日から 13 日までの間は議案精査のため休会とした。14 日に再開、3 名が一般質問を行ったあと、予算特別委員会にて付託された議案の審議を行った。翌 15 日に令和 5 年度一般会計ほか各特別会計 6 件、条例 2 件、発議 1 件を可決、令和 4 年度一般会計補正予算 1 件、発議 3 件を追加し会期を 1 日残り 15 日に閉会した。

令和 5 年度 主な事業

- 消防古丹別支署庁舎改築工事
基本実施設計業務委託
- ごみ収集車更新事業
- 浄水場耐震化補強詳細設計業務委託

製氷用エバコン改修事業



商工会館外壁等改修事業

- 町有林人工造林工事
- 三角点スキー場照明改修工事
- 製氷用エバコン改修事業補助金
- 商工会館外壁等改修事業補助金
- 苫前漁港港内蓄養実証業務委託

令和4年度

各会計補正予算可決!!

令和4年度の補正の主なものは臨時財政対策債の繰上償還におよそ9億円のほか、各特別会計で減額、追加補正をおこなった。額については、次の表のとおり。

令和4年度補正予算

一般会計 補正額	7億5,834万1千円
総額	68億6,047万9千円
国民健康保険特別会計補正額	387万9千円減額 (総額：4億7,125万7千円)
介護保険特別会計補正額	3,150万5千円減額 (総額：4億3,320万7千円)
後期高齢者医療特別会計補正額	768万6千円減額 (総額：6,200万5千円)
簡易水道事業特別会計補正額	236万8千円追加 (総額：1億3,836万7千円)
下水道事業特別会計補正額	2,047万8千円減額 (総額：1億8,321万2千円)
風力発電事業特別会計補正額	1,443万4千円追加 (総額：1億2,660万円)

【主な議案と質疑】

質 西 議員

臨時財政対策債を繰り上げ償還する意図はなにか。

答 成川総務財政課長

目的は財政基盤の強化であるが、特に公債費の圧縮を図った。

質 西 議員

財政の基盤強化を図り、柔軟性が生まれるが、今後の予算措置など総合振興計画と整合した財政計画が必要。借入先となっていた地元の指定金融機関との兼ね合いも考慮していかなくはいけない。また、住民との情報の共有化も大事になってくる。

答 成川総務財政課長

起債は、政府系の資金が多い。地元の金融機関で対応可能な借入れについては配慮していく。

答 加賀谷総合政策室長

様々な計画の策定過程では議論ができていない。その後の執行、検証では議論不足な点はあるがPDCAサイクルを行い、情報の共有化をしっかりと進めたい。

質 西 議員

にこにこタクシーについて減額補正が見られるが、利用者の実態、申請の状況はどうか。

答 横野保健福祉課長

減額となった要因は、コロナ禍による利用控えもある。申請人数はほぼ変わらない。

質 西 議員

がん検診の数が減っている中で、コロナ禍による受診控えやワクチン接種による影響などを考えると、今後、検診や相談など積極的な体制が必要と考える。

答 横野保健福祉課長

検診受診者は、回復傾向にある。コロナ禍による様々な影響があるかと考えられるが、機会を確立し、受診できるように努める。

質 西 議員

介護給付費の減額は、給付の量とサービスを提供する量とのアンバランスが生じたからか。また、介護認定における検証も必要か。

答 横野保健福祉課長

コロナ禍で、新設された事業所の入所など予定していた状況に変化が生じた。介護認定について現状では課題などはない。

質 早川議員

社会福祉士の採用はどうだったのか。包括支援センターの業務に支障はきたさなかったのか。

答 横野保健福祉課長

年度を通じて採用募集を行ったが、採用に至らなかった。包括支援センターの体制的な支障はなく業務にあたってきた。

【債権放棄の報告】

町営住宅使用料4名50件分、時効期間を経過し回収見込みがないため、債権を放棄

金額 353千290円

【町道路線の変更】

上小川防災ダムへ通じる路線を、道路欠損と今後使用しないとの確認がされたため、小川線の延長を2601.5mに路線を変更

一般質問

Q 協力隊員募集の検証と隊員の支援を

A 協力隊採用へ情報発信強化

令和5年3月定例会



質問

伊藤議員

苦前町において地域おこし協力隊は、現在も募集しているにもかかわらず応募も無く、過去には在籍していた時期もあったが、成果も見えず定着に至らなかった。

近隣町村では地域おこし協力隊員が在籍し、管内5市町村で17人が登録されている。なぜ苦前町には応募者が無く定住にも至らないのか、原因を分析し検証できているのか。

新型コロナウイルス感染拡大による移住への関心の高まりもあって隊員は昨年度全国で6千人を超え、総務省は隊員を令和8年までに1万人に増やすことを目標にし、インタビューを行う自治体の予算面での補助や研修会の実施など取組を強化している。今こそ、本町にとって大きなチャンスと考える。

農林水産分野では新規参入者を、福祉分野では高齢者の見守りや住民と行政とのパイプ役として住民支援を、商工分野では加工等地場産品の

開発・販売・PRを、社会教育では学習支援や部活動を含めたスポーツ支援など、苦前町で活躍していただきたいことが沢山ある。

新年度、担当課では施策も検討中であるようだが、チャンスを生かす新しい血を受け入れ、新陳代謝を高め、人口減少やコロナウイルス感染症拡大による影響を受けたコミュニティなど、苦前再生に向かっていきたい。

隊員のサポート体制に、行政と町民が共に協力しあうシステムの構築も必要であろう。地方創生の成功法則である「若者・ばか者・よそ者」論である、地域おこし協力隊という「よそ者」が、苦前の住民として活躍していただける日が訪れることを願う。



答弁

富士町長

平成25年度から平成27年度まで2名、平成29年度から平成30年度まで1名、合わせて、3名の隊員が在籍

していたが、いずれの隊員も、本町へ定住するに至っていない。隊員それぞれの事情もあるが、本町が隊員に期待していることと、隊員が取り組みたいこととの擦り合わせが十分にできていなかった。また、当時のNPO法人に委嘱するばかりで、行政が率先して、地域や関係団体と連携しつつ、隊員の活動をしっかりと支援する体制を構築できていなかったことが、定住に至らなかった要因であろうと考えている。

平成31年度以降も、応募者が希望する活動を柔軟に受け入れることとした募集や、特産品開発やふるさと納税支援など、具体的な活動を提示しての募集などの工夫を行いながら、本町ホームページに加え、一般社団法人「移住・交流推進機構」が運営する募集サイトでの周知を実施したが、採用には至っていない。

総務省は、隊員数を1万人とする目標を掲げているところであり、地域への定着率を高めるため、令和元年度からはおためし地域おこし協力隊、令和3年度からは地域おこし協力隊インターンといった仕組みを設けるとともに、令和5年度からは、募集経費に対する地方財政措置の拡充を行うとのこと

とであり、それらを有効的に活用していくべきと考えている。

我が町の新しい取組を積極的に、また、コロナ禍により停滞してしまった人の流れ、人との交流やつながり、さらには各種会合などを取り戻して行く動きに合わせて、効果的に情報発信し、多くの方々に本町に対しての興味や関心を持っていただく機会を増やすことで、地域おこし協力隊員の応募にも相乗効果を生み出すものと考えている。

人口減少に伴い、担い手が不足している中、本町の新しい取組や、様々な場面で、協力隊員に活躍していただけるよう、さらには隊員の定住に向けて、行政としても、改めて取り組んで行かなければならないと考えている。

地域おこし協力隊とは

平成22年度から始まったもので、都市地域から、過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、生活の拠点を移した方を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱し、隊員が一定期間、地域に居住して、地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組み。

一般質問

Q 農業の各課題と対応は

A 関係団体とともに協議をしていく

令和5年3月定例会



質問

村本議員

昨年一年間の総括をすれば全道農業での借入金総額300億円のうち90%、270億円が酪農経営体への貸付、4千700戸の酪農家数、一経営体当たり570万円の負債増加、このような現状をどのようにとらえ、今後に向けての考えを伺う。

答弁

富士町長

長引くコロナ禍による生乳の需要の減退、ロシアのウクライナ侵攻を発端としたエネルギー危機や食糧危機による生産コスト高騰、急激な円安に伴い、輸入に依存する燃油や肥料・飼料価格などの高騰にも拍車をかけ危機に直面している。国は食糧危機を踏まえ、国産の農畜産物を仕向ける仕組みを作り、農業基本法改正の議論も始まっている。

北海道においても、牛乳乳製品の消費拡大や、配合飼料価格安定制度の活用や配合飼料価格高騰緊急特別対策支援などの対策を行っている。北海道町村会として、鈴木知事に対し、

酪農経営を継続するために必要な支援の実施など強く要望をした。町も優良後継牛確保推進事業など、営農経費の負担軽減のための支援を展開してきた。

質問

村本議員

肥料価格の高騰が生産コストアップの大きな要因になっている。さらには労働力不足等による、土地利用型の畑作物の作付け面積が増加していくと思うが、そのことに向けて今後の輪作体系の在り方、地力維持へ向けての堆肥の有効活用の考えは。

答弁

富士町長

畑作物の生産については、小麦、大豆を主要作物として、カボチャや高収益作物など、多岐にわたり輪作体系を考慮しながら作物生産を行っているのが現状であり、そのために重要となる土づくりに関して、かねてより農業支援対策事業や、国の環境保全型農業直接支払交付金を活用し、支援してきた。水稲を含め、ほぼすべての品目において減農薬、減化学肥料としたイエス！クリーンの認証や特別栽培に取組むことで、有利販売に結びつけているものと評価しており、とままえメロンについては、本年1月特許庁の地域団体商標を取得するなど、土づくりから

の取組は、実需者からも高い評価を受け、先進的な農業を推進していると認識している。畑作物の生産については、小麦、大豆を主要作物として、カボチャや高収益作物など、多岐にわたり輪作体系を考慮しながら作物生産を行っているのが現状であり、そのために重要となる土づくりに関して、かねてより農業支援対策事業や、国の環境保全型農業直接支払交付金を活用し、支援してきた。水稲を含め、ほぼすべての品目において減農薬、減化学肥料としたイエス！クリーンの認証や特別栽培に取組むことで、有利販売に結びつけているものと評価をしており、とままえメロンについては、本年1月特許庁の地域団体商標を取得するなど、土づくりからの取組は、実需者からも高い評価を受け、先進的な農業を推進していると認識をしている。今後関係団体において、堆肥の有効活用のため、資源循環に係る考え方を率先して定めていくべきと考え、その実現のため、機械・施設の導入等、補助事業の活用の際には、町として必要に対応については、関係団体とともに協議をしていくべきものと考えている。

質問

村本議員

農作業形態も大きく変化することで、条件の不利な農地管理には過度な負担を強いられると思うが、今後の農地の考えとして、行政の方向性や働きかけ等を伺いたい。

答弁

富士町長

水田の畑地化に伴う資産評価については、あくまで交付対象水田からの除外であり、税法上の地目変更がされることではなく、資産評価が変わるものではない。また、農作業体系も大きく変わり、一戸当たりの経営面積が増加する中、機械の大型化等により、沢地などの条件不利地で耕作を続けることは、大変な労力である。国は、中山間地域直接支払交付金や多面的機能支払交付金、農地中間管理事業などにより農地を守るべく対策を講じている。町としても、スマート農業の導入、穀類乾燥調整施設の建設など支援を続け、今回の穀物サイロの増設も、農地の遊休化防止に貢献できるものと考えている。まずは農業委員会で、具体策を協議をいただき、行政と一体となって施策を講じるべきと考える。

一般質問

Q 大震災による津波が発生した時の避難は

A 町道苦前3丁目線を活用して役場・コミセンへ

令和5年3月定例会



質問

磯崎議員

東日本大震災から12年が経過、その後北海道胆振東部地震と大震災による津波が発生している。苦前町も沿岸部に集落が点在しており津波への対応が必要である。地区町内会長との話し合いの結果、①下町から上町に住民を移動させる②車のある人は車で、車の無い人は町内会で上町まで運ぶ③下町から運び上げた住民を上町町内会個人宅に避難させていただく④冬期間の場合、町の避難所が開設するまでの時間一時的に預かってくれる体制を作るなどが考えられる。

また、港町内会65名が避難した場合、町で備蓄している災害用の緊急食糧等は供給できるのか。町主催の防災研修会の開催予定はあるのか。

答弁

富士町長

自力避難が困難要援護者の災害時救済策は、全国的にも課題とされており、中央防災会議においても、家族に構わず自分一人でも逃げる行動であっても、地域全体の生存者を増やすという観点から評価されており、最も優先的行動であるとの見解を示している。①及び②の要援護者救護については、現実的には不測時において極めて短時間での救護が必要となること、常在マシンの有無、責任の所在なども含めてハードルが高く、確実な計画実行は相当困難ではないかと考える。しかしながら古くからの隣近所のつながりの強い人情味厚い地区であるため、互助が地区に根付いていると確信している。津波災害時の場合、近所同士、手近かな車両など、限られた人材・資源を臨機応変に用いての避難行動となるのが現実的であることから、町も支援しながらシミュレーションしておくことが肝要と考える。今後町内会も交え検討が必要と認識している。

③及び④の民家への一時避難や避難所開設は、現実的に避難者動線として整理した場合、苦前町役場及び苦前地区コミュニティセンターを目標としている。ただのが現実的な流れになると予想している。役場への職員招集と同時に避難所を開設することは可能であり、町内会個人宅に仮避難ということの必要性は薄いと考える。避難所においては、町で備蓄している緊急食糧は供給可能な状況である。

その他の避難者や避難見通しに応じて臨機応変に流通備蓄の手配、自衛隊派遣要請や政府への物資支援を要請していく。

また、避難所運営の机上訓練など様々なシミュレーションを含めた研修会や防災訓練については、防災対策上の必要性が高いと認識している。本町は苦前地区と古丹別地区の2大集落を抱えており、被災想定が異なっているため全町一斉の避難訓練などの実施は難しい状況であるが、苦前地区での、外部専任講師を活用した研修会や防災訓練の実施は検討が必要と考える。

古丹別地区では町内会による防災訓練が毎年行われており、各町内会独自の防災訓練、研修会等の開催は町内会によっても十分可能ではないかと評価している。



三豊地区の延びる防波堤



3丁目線避難路

予算特別委員会

令和5年度予算

慎重な中でも真剣議論！！

委員長

村本 隆

副委員長

田沢 収

質 西 委員

指定管理料や業務委託においてウクライナ情勢や原油高騰、物価高騰などの影響が大きい場合、公的サービスの業務に支障がないように配慮が必要ではないか。

答 成川総務財政課長

原則論では契約変更は難しいが、過去には、燃油高騰の際に特別対策を講じたことはあった。柔軟な対応が求められると考えている。

質 西 委員

古丹別中学校が令和4年度で閉校となることにより、今後の管理はどうなるのか。逐次適正に管理できるか。

答 成川総務財政課長

教育財産から普通財産へと所管替えとなる予定。現在、再活用のご予定がなく、営繕措置は施さないが危険防止の観点での対応となる。

質 田沢委員

基幹水利施設管理事業補助金の増額理由は。

答 宮野農林水産課長

光熱費の高騰による増額。

質 田沢委員

「障害」と「障がい」表記の違いは。

答 名畑保健福祉課長補佐

国や法律で定められているものは「障害」、それ以外は「障がい」を使用している。

質 伊藤委員

障害者管理システム保守業務委託料・障害者計画策定業務委託料の令和5年の計画とは。

答 横野保健福祉課長

町のサービスの必要量を計画。3年に一度の見直しで、第7期障害者福祉計画と第3期障害児福祉計画のことである。

質 伊藤委員

生きがい活動支援事業補助金の減額は、福祉有償事業利用者の減か。それともここにタクシー利用による減か。

答 横野保健福祉課長

福祉有償運送事業において、利用者も多くは透析患者だが、透析利用者の減少による減額。

質 早川委員

国鉄羽幌線代替輸送確保基金繰入金は、このままでは約5年で底をつくのでは。

答 成川総務財政課長

いずれは底をつく。

答 加賀谷総合政策室長

基金が底をついた場合、公共交通対策であるため、一般財源化せざるを得ない。

質 早川委員

JARのまい販路拡大PRイベント負担金は昨年同様の内容か。他町村では農産物以外の購入もあると聞いているが。

答 宮野農林水産課長

現在、首都圏と札幌圏でイベントを開催すると聞いている。町の特産品購入に充てるが、各市町村の事情もあり、農産物以外の購入もあった。詳細については、実行委員会と協議すると聞いている。

質 西 委員

町有林の植樹において、脱炭素の取り組みに含めると言うが、CO2の吸収率など、どの計算式を用いるのか。森林全体でのカーボンオフの数値は、計算式によっては正確性を欠く。未来に環境を残すのであれば、雑にならずに丁寧に本質的な展開をすべき。

答 宮野農林水産課長

予定地でのCO2の吸収率は計算していないが、国などの研究機関の計算式を用いる。

答 加賀谷総合政策室長

現在示されている計算式が少なく、カーボンオフセットを数値化するのには確かに難しい。再エネ、省エネを基本線としてオフセットの部分は、計画でも最終の段階において考えていく。

質 間宮委員

北海道風車まつりでは子どもたちによる豊穰太鼓の披露を願いたい。

答 本田商工労働観光課長

開催内容は、実行委員会と計画される。内部でも検討し開催内容を取りまとめる。

質 西 委員

風車祭りの予算が計上されているが、昨年度は風車祭りの代替イベントとして開催したとままえマルシェとの兼ね合いはどうなるのか。

答 本田商工労働観光課長

マルシェの開催はコロナ対策の交付金を活用したが、今後は見込めない。風車まつりの中でマルシェを兼ねる。

質 伊藤委員

風車まつりは、歌謡ショー等の余興や同時開催のイベントを楽しむ所。とままえマルシェは苦前の物を町民に購入してもらう地産品地消。更に地方発送することによる広告の意味合いもある。町民に非常に好評であり町民ニーズも高い。

答 本田商工労働観光課長

風車まつりの中で販路拡大をする。

質 伊藤委員

送料での町民還元や一部町民にも送料をご負担いただく等の経費の考え方を変更しては。

町民のニーズが高い事も、行政は考えていただきたい。

質 伊藤委員

教育の新規事業、漢字検定試験受験料補助金の内容は。

答 宮前子ども教育課長補佐

漢字検定試験は年に3回開催され、人数が集まればその場所で受験できる。小学生から中学生まで年1回分を計上している。

質 伊藤委員

苦前商業高校の国際交流事業補助はコロナも終息しつつあり復活したであろうが、内容は決まっているのか。

生徒数も減少している中、このままの継続で良いのか。学生の意向調査等の検証が必要では。

答 宮前子ども教育課長補佐

詳細は決まっていないが、英語圏へ2名の派遣は決定している。今後については、高校と協議し、より良い支援を模索していく。

質 早川委員

高校運営事業補助スクールサポートスタッフの内容は。

答 宮前子ども教育課長補佐

高校魅力化や道外募集、地域

と学校のマッチングなどの様々な業務を担ってもらい、教員負担の軽減に向けて1名を雇用し、120日分の計上をした。

質 早川委員

同じく運営事業補助、生徒募集活動費の減額理由は。

答 宮前子ども教育課長補佐

中学校訪問を効率良く回すようにし、経費の圧縮をした。

質 早川委員

現在、苦前商業高校は地域連携校の指定を受けているが、今年度は6名の入学予定で、来年も10名以下の場合はどうなるのか。

地元生徒の進学に力を入れて欲しい。

答 長澤子ども教育課長

地域連携校の場合、令和6年5月1日現在の第1学年の在校生が一桁で2年続けて10名未満になると、令和7年から令和9年までの学校配置計画が策定され、令和9年募集停止、令和10年閉校の可能性がある。

地元中学生は普通科高校希望が高い。苦前商業高校生徒と小中学生の交流も計画している。

苦前商業高校が選択肢の一つに

なるように努力する。

答 開発教育長

学校配置計画において、地域における取り組み内容や効果を勘案した時期を集中取組期間として設定している。地域の教育維持存続に向け、大きな変動がある場合や地域における実情により集中取組期間が見直される。

質 西委員

苦前漁港整備の議論の経過を説明願う。完成まで時間がかかるが、漁業者への影響や漁業後継者、若い漁業者とも議論を進め、漁師がないがしろとならないような整備計画にして欲しい。

答 宮野農林水産課長

ホタテ岸壁の排水能力に絡み整備要望があり、令和2年度から協議が始まりホタテ岸壁の移設などの議論が昨年度より本格化された。沖合展開の方法の議論を一般漁業者も交えて協議され、最終的にこの計画案で漁協からも要望提案があった。10年近くかかる事業となるので後継者の方などにも意見を聴取するなどの配慮をしていきたい。

質 田沢委員

特定空家等除去工事は行政代執行なのか。

答 星建設課長

網を掛けたり、板を張るなどの最低費用で、10万円の計上。少額であり、行政代執行ではない。

質 西委員

この春より物販棟がスタートすることでふわっと一連の大規模改修が終了し、心機一転となる。しつらえなどが変化することで現場とのコミュニケーションがより大事になる。どのような目標、目的を掲げたのか。

答 本田商工労働観光課長

物販棟では、いかに地元特産品の販路拡大に繋げていくか、苦前町の観光拠点として観光窓口の位置づけとする。



とままえマルシェ



養殖実証試験、展開を計画に盛り込まれている 苦前漁港

答 小澤副町長

オープンセレモニーを予定している。町内外を含めてPRの強化を図っていききたい。

質 西 委員

観光拠点の窓口というのがどのような展開を考えているか。

答 本田商工労働観光課長

多くの方が訪れるのでパンフレットなどを置き、情報提供を行っていく。

質 西 委員

パンフレットを置くことは、今までやっていることと同じである。リニューアルするということでは、もっと真剣に多方面と協議し、改めて目的や目標を掲げ、町民の愛される、訪れた方と交流できる施設となるよう向き合っていくべきである。

質 西 委員

子育て支援において、子どもの数の減少から転換期を迎えてきている。こども園の運営では、法人営で担ってもらっているが、子どもの数の減少による影響が出始めている。こども子育て条例を制定しているわが町ということでは、しっかりとした検証が必要と考えるが。

答 開発教育長

子育ては最も重要な位置づけである。条例では各々役割が明文文化されており、町全体で子育てをしていくことになる。各方面との協議の場を設けたい。

質 伊藤委員

農林水産費の有害鳥獣対策ではアライグマの捕獲頭数が206頭の報告があるが、2課の殺処分は職員がやっているのか。

答 島田住民生活課長

住民生活課の殺処分は、職員がガスで行っている。

答 宮野農林水産課長

農林水産課も同様に、職員がガスで行っている。

質 伊藤委員

殺処分は生き物を殺生する苦痛・ストレスが非常に大きい。死体処理は、衛生施設組合へ2名体制で行かなくてはならず、通常業務への影響もある。比較的若い職員が担当することも多く、早期退職の可能性もある。

他町村も同様の問題があり、広域で何らかの方法を考えるべき。担当課ではなく、町として対応策を。

答 小澤副町長

精神的にも非常に大変であり、管内の副町長会でも検討していく。



捕獲されたアライグマ

質 磯崎委員

たこあげ大会実行委員会で予算が無いがどうなっているのか。教育委員会の所管となっているが、本来は商工労働観光課の所管ではないか。

答 森社会教育課長

6月補正で上程を考えている。今後については、実行委員会とすでに話し合っている。

当初、たこあげ大会は社会教育課で始まった。後に物販の部分は商工労働観光課で担当している。

質 西 委員

古丹別中学校と苫前中学校の統廃合によって子供たちの健やかな成長を支えるために、環境の変化は否めない中でじっくり観察し対応してあげてほしい。今後の子どもたちの健やかな成長のためにどのような想いを持っているか。

答 長澤子ども教育課長

中学校の統廃合は、大きな課題であったが、学校、保護者など関係者にご協力いただき大変感謝している。統合が目的ではなく今後の中学校での運営が大事なので、サポートしていく。子どもは宝であり、元気で健やかな姿でいられるようお願いを込めたいと思う。

令和2年123名。

令和3年25名、令和2年24名である。

質 早川委員

保健師は間に合っているのか。

答 横野保健福祉課長

職員3名、会計年度任用職員1名の4名体制である。充分ではなく、継続して募集していく。

● 介護保険特別会計

質 伊藤委員

高齢者交流サロン推進事業補助金が科目設定の理由は、町の中に小さなサロンが多くありと良いと聞かすが、老人クラブ等に推進しては。

答 名畑保健福祉課長補佐

平成29年に旭地区で設立以降実績が無い。希望があれば補正する。要件が週1回、年間40回、1回1時間以上で平均高齢者5名以上となっている。令和5年に向けてPRしていく。

● 下水道事業特別会計

質 伊藤委員

下水道汚泥の有効利用検討業務委託料の説明を。

答 星建設課長

下水道浄化センター汚泥処理に

答 島田住民生活課長
特定健診は令和3年145名、

● 国民健康保険特別会計

質 早川委員

特定健診と人間ドックの受診が低いようであるが実績は。

答 島田住民生活課長
特定健診は令和3年145名、



完成した道の駅物販棟

年間2千万円かかっている経費の軽減をはかりたい。現在は汚泥を深川地区に搬入しているが閉鎖となるため、石狩に搬入となり、今後経費の増額になる可能性もある。

質 伊藤委員

酪農現場においても、糞尿処理の選択方法によっては、ランニングコストが大きく金食い虫となる場合もある。我々議員も勉強する時間が必要。検討中の情報共有を願う。

答 星建設課長

逐次、情報提供しながら、方法論を見いだしていきたい。



汚泥有効利用の検討が行われる下水処理場

質 田沢委員

歳入において地方交付税の占める割合が大きく、現在交付されて

総括質疑

いる額では満足いかない。課題として自主財源の確保が大事になってくるが、ふるさと納税が最適だと思ふ。本町の実績として、令和3年度から急増した。道外、関東圏が多く埼玉に米を出荷するなど、コロナ交付金を使い、PR活動でパンフレットなどを配布し農産品を配った成果が出ていると思う。多額の予算を投じたが、良い事業を行った。今度は大都市を中心にPRを行うべきである。

風力発電事業においての売電益を得ているが送電線網の整備が課題だ。カーボンニュートラルなど環境に配慮した発電において、国は柔軟に対応してくれると思う。町長は、中央とのパイプを持っているので、送電線網の整備に力を発揮して欲しい。

答 福土町長

ふるさと納税については、税外収入、自主財源をどのように確保するかということを中心に考えてきた。庁内にプロジェクトチームを立ち上げて進めた。いかに返礼品の商品を開発していくかに尽きる。ジーンズスカンなど新商品の開発といったことに働きかけなどを行っている。今年度は1億円に到達するようにしたい。

風力発電の売電においては、議員時代にリプレースをするべきと当時の町長に食い下がった。現在は新しい風車が微風でも回り、町民還元ができた。日本海の風を利用しない手はないと先日開かれた自民党再生可能エネルギー議連でも具体的に進言してきた。そのためには、管内的に送電線網の整備に力を合わせていかなくてはいけない。今後も風力発電を含めて税外収入、自主財源の確保に力を注いでいく。

質 西委員

骨格予算ということでは、経常経費的な予算が中心だか、経常経費は住民に密着したことが多く、しっかりと見つけ直さなくてはならない。

人口の減少は今後も進み、ここ数年は、予想よりはるかに速度が速く進んできた。その速度に町の対応はついていけているか。どのラインで人口減少を止めようと考えているか。その時に町民は、どのような夢や希望を持って暮らしているか。そして、そのために今、すべきことは何と考えるか。住民自治の中で行われるコミュニケーションの再生、団体自治として大

切な住民への寄り添い、このことに対して今一度、苦前町、職員一丸となって大好きなふるさとでみんなと共に暮らすという想いを共有しなければならぬ。

予算編成において経常経費の点検や検証がどうのようになされ、今、町民の皆さんが必要と考えていることはどこにあり、何を町に期待していると考えているか。町長、副町長は提出した予算に対する想いは、どのようなものであったか。

今後は、激変し、無くなってしまう産業分野などは既に予測が立つ。今、従事する人材不足を行政としてどのような支援や手立てが必要と考えているか。

人材を確保する大変さと同時に、町内の人材を大切に、育成をする必要も重要な視点である。今年度計上された予算でも、様々な面で住民にご協力いただく場面が多くあるが、人材育成の観点からどのような官民協働の作業が必要と考えているか。

答 小澤副町長

骨格予算ではあるが、前年度の執行をみて、住民の意見なども勘案し予算を組んできた。需用費の燃料費等の上昇については、

対策が必要かと思う。役場職員採用なども現状大変だと感じている。町内もそうだろうと考えるので、しっかりと考えていきたい。コロナの影響もあり交流が図れない場面もあったので、今後はしっかりと交流も図っていききたい。

答 福土町長

いかに町民の声を吸い上げて行政で展開できるということであり、それが地域のあり方だろうと考えている。コロナの影響があり町民の皆さんと交流することが難しい場面があった。この苦前ですらでも暮らしているようにしたい。予算編成においても新しいものを取り入れて編成するように指示した。

人材の確保は大切である。子育てについても全力を挙げて施策を考えていきたい。産業は人材確保の点で大変になってくる。合理的に産業を形成していくために行政は何が出来るか考えていかなくてはならない。高齢者が元気で、安全安心にいつまでも暮らしていけるマチにしたい。

起債の繰上償還・苫前漁港蓄養実証事業

漁協冷蔵庫製氷用冷凍機の改修など

総務産業
常任委員会

2月17日
22日

● 苫前町商工会事業

・ 商工会運営事業

補助予定額 417万円

・ プレミアム地域振興券発行事業

補助予定額 934万円

・ 商工会館外壁等改修事業

補助予定額 424万円

● 観光施設の改修工事

・ 夕陽ヶ丘オートキャンプ場
看板補修・炭捨て場改修

工事予定額 112万円

● 住民生活課所管主要事業

・ 出産・子育て応援給付金、
伴走型応援支援、システム構築等導入

令和4年度予算2460万円

令和5年度予算1500万円

・ ごみステーション8基更新

予算額 312万円

・ ごみ収集車両の購入

じん芥車・資源分別車

・ MICS事業負担金

負担額 2769万円

・ 羽幌町外2町村衛生施設組合

負担額 2368万円

・ 苫前町災害廃棄物処理計画の策
定

負担金 3億6337万円

大規模災害が発生した際に、初動体

制の整備、仮置場や処理ルートの確保
等を迅速適切に行うにすため制定。
パブリックコメントを実施して策定す
る。



建設が進むゴミ処分場

● 苫前町国民健康保険条例の一
部を改正

国の地方税法の改正により、国民健
康保険税率の改正を行う。

● 臨時財政対策債の繰上償還

起債の柔軟性が増している状況と理
論償還方式の利点を鑑み、臨時財政対
策債9億0729万円を繰り上げ償還
し、今後の町財政をより堅実、かつ、
安定的に運営する。

● 二次救急医療体制確保に係わる
負担金算定方法の見直し

留萌市立病院の二次救急医療分の差
引額に苫前町の救急搬送件数を乗じて
負担金額を算定する。

● 町有林人工造林工事

昨年皆伐した山にミズナラ530
0本を植樹

● 苫前漁港港内蓄養実証事業

時化（シケ）や漁期による影響を
緩和するための出荷調整や通年出荷体
制の可能性を第3港区（現ホタテ養殖
作業ふ頭前）にて蓄養実証試験を行う。
業務委託料 299万円

● 製氷用エバポレーターコンデ
ンサー改修事業補助

北るもい漁業協同組合の苫前冷蔵
庫にある製氷用冷凍機のエバコン改
修事業の一部を補助

● 上平共同利用模範牧場の扉修繕

補助金額 511万円
予算額 1000万円

● 電気柵の購入事業

苫前町有害鳥獣被害対策協議会へ
無償貸付し、同会より要望があった農
業者へ8年間無償貸付し運用する。
補助額 3890万円増額

● 産地生産基盤パワーアップ事業
への補助

るもい農協苫前支所が新設する事
業（穀物サイロ（5000t×3基）
への補助
補助額 1億3200万円
令和4年補正予算にて

令和5年度北留萌消防組合予算
・ 古丹別支署建築工事基本・実施設計
委託料
予算額 2207万円



穀類乾燥調製施設

● ふるさと応援寄附金

令和5年度寄付目標額7000万円

● 総合政策室所管主要事業

・ 遠別民放ラジオ中継局協議会負担金
予算額 638万円

● 『広報とままえ』のリニューアル

令和5年度より編集作業を自庁処理
し、町職員全体の広報技術向上を図る
予算計上額 303万円

● 生活路線バス等維持費補助金

令和5年4月1日から、羽幌・旭川を
結ぶ「特急あさひかわ号」が往復1便

予算額 2167万円

令和5年度より編集作業を自庁処理
し、町職員全体の広報技術向上を図る
予算計上額 303万円

● 生活路線バス等維持費補助金

令和5年4月1日から、羽幌・旭川を
結ぶ「特急あさひかわ号」が往復1便

予算額 2167万円

● 生活路線バス等維持費補助金

令和5年4月1日から、羽幌・旭川を
結ぶ「特急あさひかわ号」が往復1便

予算額 2167万円

● 生活路線バス等維持費補助金

令和5年4月1日から、羽幌・旭川を
結ぶ「特急あさひかわ号」が往復1便

予算額 2167万円

運行開始

●令和5年度土木事業

・道路除排雪業務委託料

予算額 1億2753万円

・旭長島線歩道整備工事

工事延長 150m

予算額 5000万円

・夕陽ヶ丘線改良舗装工事

工事延長 126m

予算額 2592万円

・橋りよう長寿命化修繕計画策定業務

・橋りよう長寿命化修繕計画策定業務委託

51橋分

予算額 613万円

・橋りよう修繕工事

4橋分
予算額 2023万円

●令和5年度建築事業

北斗団地・川添団地の居住環境改善

予算額 3115万円

●令和5年度下水道事業

・下水道基本計画見直し業務委託料

予算額 504万円

内交付金250万円

・下水道汚泥の有効利用検討業務委託料

予算額 800万円

内交付金400万円

・浄化センター改築更新工事

予算額 1億6400万円

内交付金 8730万円

水洗トイレ改造等補助金

予算額 600万円

・内交付金100万円

●令和5年度水道事業

・浄水場耐震化補強詳細設計

予算額 1947万円

・浄水場設備更新詳細設計

予算額 508万円

●債権の放棄

消滅時効に係る時効期間を経過

放棄金額 35万円

●町道路線の変更

町道小川線の1部を廃線

●苦前商業高等学校入試出願状況及び生徒募集対策・魅力化事業

40名定員に対し6名の出席

・新規参画事業として、地域みらい留学への参画

・苦前商業高等学校後援会に対する補助

補助金 924万円

・苦前町若者交流センターの指定管理

指定管理料 2233万円

●社会体育施設の改修工事

・三角点スキー場照明改修工事

木柱をコンクリート柱に、器具もLED灯へ変更

予算額 902万円

・苦前町議会個人情報の保護に関する条例

令和3年に個人情報保護に関する法律が改正され、令和5年4月1日から全国的な共通ルールにより個人情報保護制度の運用となるが、議会はこのルールから除かれている。引き続き個人情報保護の適切な取り扱いを確保し、開示請求があった際には適切に対応する必要があるので、条例を制定する。



照明が更新される三角点スキー場

・スポーツセンターホール天井照明器具取替工事、LED照明器具に取替

予算額 88万円

・苦前町議会の個人情報保護に関する条例

・苦前町議会情報公開条例

・苦前町情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例

令和3年に個人情報保護に関する法律が改正され、令和5年4月1日から全国的な共通ルールにより個人情報保護制度の運用となるが、議会はこのルールから除かれている。引き続き個人情報保護の適切な取り扱いを確保し、開示請求があった際には適切に対応する必要があるので、条例を制定する。

・苦前町情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例

令和3年に個人情報保護に関する法律が改正され、令和5年4月1日から全国的な共通ルールにより個人情報保護制度の運用となるが、議会はこのルールから除かれている。引き続き個人情報保護の適切な取り扱いを確保し、開示請求があった際には適切に対応する必要があるので、条例を制定する。

・苦前町情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例

令和3年に個人情報保護に関する法律が改正され、令和5年4月1日から全国的な共通ルールにより個人情報保護制度の運用となるが、議会はこのルールから除かれている。引き続き個人情報保護の適切な取り扱いを確保し、開示請求があった際には適切に対応する必要があるので、条例を制定する。

・苦前町情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例

令和3年に個人情報保護に関する法律が改正され、令和5年4月1日から全国的な共通ルールにより個人情報保護制度の運用となるが、議会はこのルールから除かれている。引き続き個人情報保護の適切な取り扱いを確保し、開示請求があった際には適切に対応する必要があるので、条例を制定する。

・苦前町情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例

令和3年に個人情報保護に関する法律が改正され、令和5年4月1日から全国的な共通ルールにより個人情報保護制度の運用となるが、議会はこのルールから除かれている。引き続き個人情報保護の適切な取り扱いを確保し、開示請求があった際には適切に対応する必要があるので、条例を制定する。

・苦前町情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例

臨海地域
特別委員会

2月22日

●新日本海地域交流センターリニューアルオープン・道の駅「風Wとままえ」直売所「よつてけ屋」完成式典

令和5年4月28日

とままえ温泉ふわっと

●新日本海地域交流センター指定管理に基づく維持修繕

・バス修繕分委託料500万円

・維持修繕委託料 300万円

・指定管理料 7700万円

第1回
臨時議会

2月20日

●一般会計補正予算

・産地生産基盤パワーアップ事業補助金 3億円

・穀類乾燥調製施設貯蔵施設新設増強事業

債

・若年者雇用促進助成金 12万円

・重度心身障害者医療費 539千円

一般会計総額 61億2138千円

自治功労者表彰

令和5年第1回定例議会3月14日の席上にて全国町村議会議長会表彰規定に基づき、自治功労賞表彰の伝達式が行われた。

町村議会議長7年以上

阿部 俊一議長



阿部議長

町村議会議員15年以上

田沢 収議員



田沢議員

苫前商業高校生徒さんたち 議会傍聴

マチのことを知る機会に
3月8日苫前商業高等学校の2年生6人と佐藤校長先生ら4人が、令和5年度第1回定例議会を傍聴。4月に統一地方選挙を控える中、2年生の中には18歳を迎える生徒もいることから、町政に触れる機会作りに実施した。この日は5年度会計予算案の提案理由説明が行われ、苫前商業高等学校後援会補助金や各種資格の取得費や寮費の補助などに耳を傾けていた。



4年間ありがとうございました。

早いもので、1年間で4回の発行、4年間で16回の議会だよりを発行。毎回、西委員長、伊藤副委員長を中心に試行錯誤、暗中模索のなか編集作業をしました。いかに、手に取ってもらい、読んでもらえるか、そして議員が、どの様な意図の発言をし、町側からどんな答えを引き出してきたのか、少しでも興味を持っていただければ幸いです。

この4年間、旧議場から苫前消防の2階の仮議場、苫前コミセンの3階の新議場へと場を移し、今となっては懐かしい思い出になっています。これからも、メンバーは変わりながらも発行は続きますので、架け橋の一つとしてこれからも、御愛読頂きますようお願いして、4年間のお礼とさせていただきます。



編集後記

新型コロナウイルス感染症の発生から早くも3年が過ぎ去り、ようやくマスクの着用が各自の判断に委ねられ、5月8日からは第5類に移行、徐々に平常な生活様式に戻りつつあります。

この間、皆さんのコミュニケーションの場が限られていましたが、今後は以前の様に皆さんの顔を拝見しながら意見を聞く場を多く持ち、町への要望等を聞き、議会報を通じて町情勢をお知らせできればと思います。

早いもので今年度は統一地方選挙の年となりました。1年生議員として皆さんの指導を受けながら、4年間広報委員として町の様子や議会の様子をわかりやすく伝えられるように編集に取り組んできました。5年度からは新たな委員体制で取り組む事となります。何かお気づきの点がありましたら是非ご意見等頂ければ幸いです。

今年も町民皆さんがご健勝でありますことを祈念いたします。

文責 早川 日出利

あなたの写真で苦前の「ここがいい！」を伝えてみませんか？ 新コーナー「とままえフォトギャラリー」

今までは「小中学生・ちびっこギャラリー」として町内の子どもたちが制作した作品を紹介してまいりました。

今年度から、町内で撮影された写真を募集し、「小中学生・ちびっこギャラリー」がない号への掲載などを予定していますので、皆さんからの応募をお待ちしています。

●応募方法

- ・電子メールにて、下記事項を記載し、写真データを添付して下記アドレスへ。
- ・役場総合政策室へのデータ持ち込みも可能です。

●必要事項

- ・氏名（匿名・ペンネームでも可） ・住所（地区） ・撮影日時、場所、テーマなど

●注意事項

- ・応募いただいた作品の掲載をお約束するものではありません。
- ・苦前町内で撮影されたものに限りです。
- ・応募する方の住所は問いません。

応募先メールアドレス：苦前町役場総合政策室 sogo@town.tomamae.lg.jp



撮影者
池田尊子さん

苦前町の交通事故情報

令和5年4月の事故情報

発生件数
死者数
負傷者数 **0**件

交通事故ゼロ日数 3月31日現在 **627**日

風力発電の 売電状況

(町営風車「風来望」)

令和5年4月分の実績

供給電力量

690,210kWh

13,666,158円

苦前町内会へ

○苦前 福田 義昭 様

岩見町内会へ

○岩見 花井 忠昭 様

九重町内会へ

○九重 竹内 和子 様

力昼町内会へ

○力昼 笹森 武 様

岩見新和会へ

○岩見 花井 忠昭 様

社会福祉協議会へ

○苦前 福田 義昭 様

○岩見 花井 忠昭 様

○苦前 星野 恭司 様

戸籍の小箱

ご成長をお祈り申し上げます

小野寺 正悟 父 徹記 母 優美 出生日 2/24 古丹別

末永くお幸せに

與儀 大成 古丹別 平田 七海 妻 北斗市

お悔やみ申し上げます

氏名 竹内 文信 年齢 81 死亡日 2月22日 住 九重

齋藤 末松 2月28日 上平

岩田 俊六 3月7日 古丹別

笹森 恵美子 3月9日 力昼

花井 ハツヨ 3月14日 岩見

星野 ウ子 90 3月15日 苦前

「厚志」感謝「美由」